

平成 26 年度
大井川の源流を学ぶ視察会
実績報告書

視察日 平成 26 年 10 月 2 日（木）～ 3 日（金）

参加者 15 名



大井川の清流を守る研究協議会

大井川源流部を学ぶ視察会 日程

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月2日 (木)	島田市川根文化センター(チャリム)集 合	7:40	島田市川根町家山1173-1(0547-53-3511) 金谷駅 6:39発 家山駅 7:10着 7時20分お迎え
	概 要 説 明	7:40～ 7:50	研修会の概要説明、視察資料の配布、説明 * 7:50出発
	笹 間 川 ダ ム	8:00～ 8:15	大井川上流で取水され発電に利水された水は、下流の発電所に送られて再度利水され、一度も大井川本川に戻されることなく笹間川ダムに集められる。さらに下流の川口発電所へ送水される
	塩 郷 堰 堤	8:25～ 9:10	この堰堤は大井川ダム及び支流寸又川合流点下流の余水を集めて笹間川ダムに送水するが、堰堤建設から30年間(水利権)ゲートを降ろして貯水を始めると一滴の水も流れず、河原砂漠が出現し26年前に「水返せ運動」によって5tの水が流れることになった
	四 季 の 里	9:15～ 9:25	トイレ休憩
	長 尾 川 水 路 橋	9:30～ 9:45	導水管の流水を境川ダムに送水するために構築された水路橋 水路橋は川根長尾川と中津川に存在する
	牛 の 首 (小 山)	10:10～ 10:20	大井川で2番目に建設された発電所跡
	大 井 川 ダ ム 奥 泉 発 電 所	10:30～ 11:00	大井川ダムは大井川発電所(崎平)の取水のために、大井川本川を堰き止める最初にできたダムで井川山林からの木材の流送を阻止することになり補償問題で係争となったが電力会社が全面的に補償要求を受入れて解決した
	接 岨 峡 温 泉 会 館	11:20～ 12:20	昼食・休憩
	井 川 ダ ム	12:45～ 13:10	井川ダムはわが国で初めてのホーロー・グラビティ(中空重力)タイプを採用し昭和32年9月に竣工し日英水力電気(株)が調査してから50年目に実現した。高さ100メートル直下の左岸の井川発電所は落差92.7メートル、最大出力62,000kwである。年間流量の調整と洪水調節・農業用水・飲用水の安定供給を図っています。
	て しゃ ま ん く の 里	13:50～ 14:00	井川三叉路にて交通規制により20分待ち トイレ休憩
	畑 薙 第 一 ダ ム	14:30～ 14:35	
	赤 崩 れ	14:50～ 15:05	
	榎 島 ロ ッ チ	15:50～ 16:00	
	燕 沢 土 捨 場	16:30～ 16:45	中央新幹線(リニア)の建設土砂土捨場予定地
千 石 大 橋	16:50～ 17:00		
二 軒 小 屋 ロ ッ チ	17:10	夕食(18:00) 研修及び意見交換(19:30-20:30) 講師 東海フォレスト株式会社 顧問 内海 登 氏 21:00 消灯	

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月3日 (金)	二軒小屋ロッヂ	7:00 7:50	朝食 ロッヂ出発
	田 代 ダ ム 取 水 水 路 取 水 口 本 川 流 路 (滝)	8:00～ 9:15	<p style="text-align: center;"><u>田代川第二発電所(東電)とのかかわりについて</u></p> <p>1. 大井川の本川から山梨県早川(富士川水系)へ導水されている 2. 最大取水量4.99m³/s 最大使用水量 5.34m³/s 3. 水路延長 田代川第二(発) 6,200m 落差 501.8m // 第一(発) 5,800m 落差 350.2m 計 12,000m 852.0m 4. 田代ダムの標高 1,400m 田代川第二(発)の標高 900m 5. 水利権取得 大正10. 2. 17 発電用水許可期限 平成27. 12. 31</p> <p>○H17. 11. 27合意事項 維持流量を季節により0.49～1.49m³/sとする 許可期限を10年とする</p>
	二軒小屋ロッヂ	9:25	出発 9:25
	榎 島 ロ ッ チ	9:55～ 10:40	白簾史朗記念館見学・トイレ休憩
	白 樺 荘	11:55～ 12:45	昼食・休憩
	え ほん の 郷	13:20～ 13:40	見学
	資 料 館 や ま び こ	14:05～ 14:15	鉄砲堰見学
	長 島 ダ ム	14:20～ 15:05	国土交通省直轄の多目的ダムで洪水調整のほか農業用水・水道用水の補給の水利を調整します。 この水は直接大井川に流されるのではなく、中電の発電用導水トンネルによって送水されます
	四 季 の 里	15:35～ 15:50	トイレ休憩
	地 名 発 電 所 跡	16:00～ 16:15	
島田市川根文化センター(チャリム)到着	16:30	解 散 *大井川鐵道 家山駅 17:31発 金谷駅 18:01着	

大井川の源流を学ぶ視察会 (H26.10.2~3)



笹間川ダム



塩郷えんてい



奥泉発電所(導水管)



井川ダム



畑薙第一ダム



大規模な山腹崩壊(赤崩れ)



木賊堰堤



燕沢土捨場



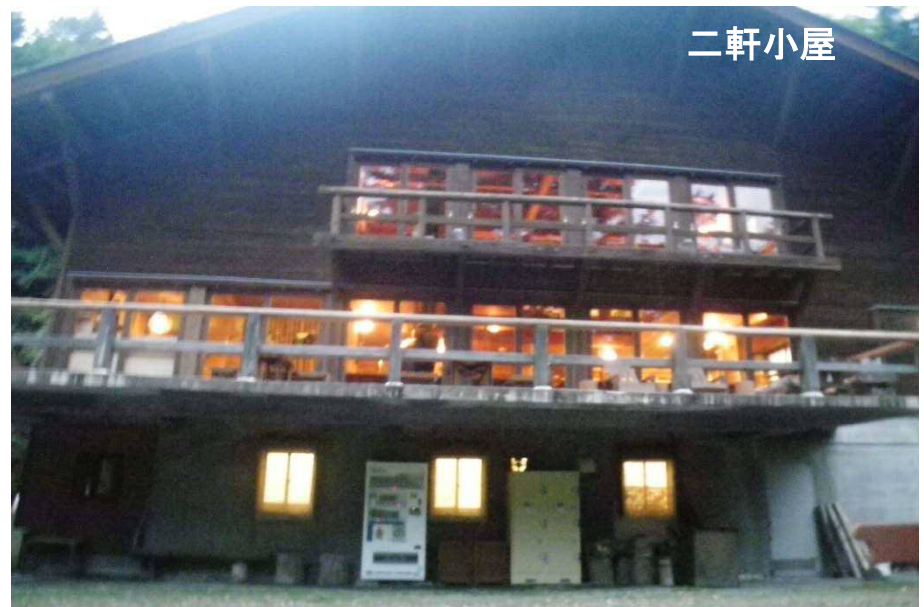
千石大橋



千石大橋(上流)



南アルプスの講話(二軒小屋ロッジ)



二軒小屋







長島ダム施設説明(長島ダム管理所)



長島ダム



地名発電所跡



チャリム(解散)

平成 26 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○河床の変化や両岸の山腹崩壊など、大井川の現状について承知していませんか

・知っていた 7人 ・知らなかった 6人 ・関心がなかった 2人

○大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか

視察会に参加して、江戸時代から大井川は研究されていた事など知りました。源流に近くなるほど、山肌は荒れて大量な土石流、流木が川に入っている。水質はどうなるんだろうと感じました。ダムは、高度な技術・原動力の結晶です。水力発電は、一番安心・安全です。電力に携わっている人達に感謝致します。

大井川の水の尊さ、生活に欠くことのできない水、電気を勉強できて大変良かったです。(女性)

上流部の視察で、先ず、本川の荒廃に驚きました。ダムの土砂堆積の多さと流入する支川の荒れた様に危機を感じました。特に青蘆の凄まじい崩落、その土量、技術的にも困難な事とは思いますが、何らかの方法で下流部への移送は出来ないでしょうか。

リニア新幹線のトンネル廃土については、土捨場に20数メートル高く盛土がされる話は実感として理解出来ませんでした。(現況との取り付け)

右岸、左岸共に崩落箇所が多く、土盛については流出防止対策の実壁が求められると思います。水対策についても工事が始まってからの対応では遅すぎますので、想定外の事故とならないよう、あらゆる可能性を考慮し事前に十分に本川水量の減少は絶対ないようお願いしたい。(男性)

国、県、市町が一体となり河川の流量調整と工業用水、農業用水、上水道水の確保をしていることが解りました。

これまで何回か二軒小屋まで行って、ある程度の状況を把握していたつもりでしたが、改めて現状を見て、説明を受け山と河川の荒廃に驚きました。(男性)

大井川用水の形態が見学及び説明により、理解を深められました。

日常、意識しないで水を使って生活していたが、「大井川の源流を学ぶ視察会」に参加して、意識して大切にエコに心がけて使用していかなければと感じました。ダム在所轄が違う事で問題点がある事も分かり、参考になりました。(女性)

今回、現地にて講師の説明に現状の山腹崩壊を目前に次のことを痛感しました。

- ・ 上流域においての山崩れ・崩土の広範囲化に伴い川床の高床化
- ・ ダム湖底の高床から貯水量減少傾向化とダムとしての機能が保てるのか
- ・ 今後、大井川源流からの恵み（生活環境）を享受できるのか
- ・ ダム湖等、川床の高床化により人為的に対策法があるのか

(男性)

現状については、ほぼ想像していたとおりでした。

講師、各電力会社の方々の説明を聞きながら、直接見る事ができたことは大変うれしかったです。

燕沢等土捨場の現状を資料・写真・ビデオ等でもっと伝えられる事ができたらいいのと思います。(男性)

川の上流対岸の「山の崩落は有るよ」とは聞いていましたが、聞くと見るのでは大違い！又、上流部の河床の上ってしまったところを観て、大変驚きました。早い対策の必要性を強く感じます。また、よく下流での砂利採取が一時、問題になりましたが、これを観てうまく行かないものだなーとも感じました。

水利利用調整に関し、普段、私共は何の気にも留めず、ただ水道水を多く使えばそれだけ「水道料金が増すので節水しよう」と言う位にしか考えていなかったが、今回の視察を通じ、源流・支流からの少ない水量を途中途中何回となく利活用し、更にはその使い用途量（水利流量）の配分確保に、生活を賭け先人達が凌ぎを削って来られた事に感銘を受けました。今後共、適正な配分を得て、下流域全体がお互い恵まれた生活を望む処です。

長島ダムも電力が不足がちの今日、原子力に依存せず、原発の安全性が確保されるまでは、水力発電部分を増強して補う様、出来ないものかと思いました。(男性)

畑薙ダムの奥の山腹の崩壊を見てびっくり、自然の怖さを知りました。ダム発電所の多いのにもびっくり、川は水が流れているのが当たり前、天からの恵みの雨が、時代と共に管理権、水利権として水を取る。そして、現代のように便利になった。その半面で、災害等これからの未来に不安を残す事にならないようにと

願います。そしていろいろな事を考えさせられるよい視察会でした。(女性)

掛川の水道がこの様な経路で工業用水等、水の確保する努力をされていることが少し理解出来ました。電源供給も行われているダムによる砂利問題も考えなければと思いました。原発に頼りたくないとも感じました。

川としてももう少し水の流れが欲しいですね。山の崩壊による土砂の心配も感じました。(女性)

大井川の水資源が、これ程徹底的に利用されていたとは知りませんでした。話を聞いて感じたことは川の維持流量の確保がいかに大変だったのかという事です。企業からすれば、一度水利権を確保すれば、川が枯れようがどうしてもが最大限の利水を計るのが当然だが、この厚い壁をよく壊してくれたものと感謝しています。住民が声を上げなければ水も環境もやりたい放題にされてしまうと、いかに皆で努力していくことが必要かを感じました。(男性)

ダム湖上流部の土砂の堆積が、想像以上に早いペースで進んでいることに驚きました。また、ダム湖の堆積により浸水被害がある事を初めて知りました。塩郷ダムのような低いダムでも大きな影響がある事がわかりました。(男性)

大井川上流は田代ダムの水のきれいな事は2年前と変わらずいつまでも保ってほしい願いです。

私は焼津生まれ、栃山川の水で田植えをした子供の頃、こんな上流に設備されたダム・発電所、暗くなれば電気を使えた子供の頃は、そんなに使用しなかった家庭も、今は何もかも電気製品を使用していて、水力でまかなえないのもわかりました。市民皆様に知ってもらいたいと思いました。(女性)

大井川上流の山腹崩壊を見て、驚きました。近年の気候異常と考えますと問題は大きくなるばかりと心配しました。自然の力の中で道路を整備されている方々の努力には頭が下がりました。

大井川の水は流れず、導水管の中を下る川とは聞いておりましたが、すべての水を利用するのではなく、大井川にも水を流すべく努力している人がいる。大井川の環境保全の重要性を認識しました。

畑薙第一ダムに水が無く、「ダムはいつも水があふれている」とのイメージを持っていた私にとって驚きでした。農業に生活に水は重要です。重要な事だと思いました。(男性)

心配です。自然の大きさ、打つ手は…… 水の大切さをつくづく感じました。
(女性)

今回、参加させていただき何気なく見ていたダム、水路等、長尾川水路橋も説明を受け知らないことだらけで勉強になりました。

山腹崩壊を何ヶ所か見ましたが自然の力にはどうしようもないと思います。リニア中央新幹線を南アルプスの下を通して、大事故にならなければよいと考えますし、本当に必要な物でしょうか。これからの成り行きを見守っていきたい。
(女性)

○これからの行政や流域住民はどんなことをやっていったらよいと考えますか。

水利権更新など難しい問題に取り組んでいる役員の皆様、ご苦労様です。昔は雨上がりに流木を拾って燃料として使っていましたが、流木の活用についてもお考えいただきたいと思います。(女性)

大井川の現状に関心を持ち、次世代に引き継いでいくよう、特に若い世代へ啓蒙していくことが必要かと思えます。(男性)

もっと流域住民に知ってもらうため、5市2町だけでなく広域の住民が参加出来るように検討していただきたい。(男性)

ダム所轄が違う事で、流域住民にどんな影響があるのか広く知りわたると良いと思います。もっと多くの人に参加してもらい、現状や問題点を提示して行政を通して、皆で協力して大井川の源流を大切に守っていったらよいと思います。(女性)

大井川流域での事業企業体（東電、中電、東海フォレスト、国土交通省…）、県・市町との現環等の意見交換会により流域住民生活者と共有関係を深めるべきかと思えます。企業体も独立事業でなく窓口を一つにした共有関係を保つ事が大事と思えます。(男性)

これからの日本を背負っていく今の子供たちに関心を持ってもらうため、子供たちにも心に響く（好奇心をかきたて問題点を話し合う）パンフレットの作成が必要と考えます。

一般の人が行けない場所で起きる事を、後から知らなかったでは済まないような事があると思います。大井川流域の人々だけではなく、日本中に知ってもらわないと解決しない問題だと考えます。(男性)

何もするにも、まずは安定した水が無ければならないので、この「水利流量調整」をしっかり協議して、地元・地域の諸産業に還元できるよう、望みます。

清流を維持すべく、治山、自然保護、観光等々に気配りを続けて行って欲しいと思います。(男性)

住民として、いつまでも声を上げ続けることが大事だと思います。自分に出来る事、節電・節水、資源を大切にすることを今以上に心掛けて行きたいです。(女性)

新東名建設による水の減少があったとのこと。リニア建設でそのような事が無いよう対応していただきたい。

道路を充実し、環境整備を進める。小さなことでは、水、電気の無駄をなくす努力を各家庭で行って欲しいと思います。(女性)

J R東海のリニア工事などを、南アルプス深部へのアクセス改善に最大限利用する事を是非、考えていただきたい。単に東海フォレストや市町だけでアクセス(道路)を改良することは無理です。この大切な大井川の自然を国民・県民が大いに楽しめるように、皆で提案し努力していき、その実現のために国やJ R、電力会社の力を求めていくことが必要と考えます。(男性)

多くの人に現状を知っていただくことが必要。どのような状況になれば望ましいか、目標を共有できるようにする。(特に首長間で)

今できること、中期的にやるべきこと、長期的にやるべきことを整理し、皆が共有できるようにする。やるべきことを阻む制度や法令等及び対応方法について、皆が共有できるようにする。実施主体を明確にする事が必要。(男性)

大井川の砂利のたまりで道路と差が少なくなっている箇所もあるけれども、重機を見かけ、また、通りを良くしたり大変な水害がない事を祈ります。(女性)

雨水を蓄えるのは森林です。その森林が山腹崩壊しています。森林保全が重要です。崩壊して復旧ではまずい、国に働きかける必要が大です。保全に掛ける予算をお願いしたい。

水と電気は空気と同じく、いつも有るものと考えている私達にとって、この問

題の山林の重要性を親にも子供にも教育する必要があります。それには、山林体験です。遊びを兼ねた山林体験施設を作り教育が良いと思います。(男性)

国、東海パルプなど、災害前に何とか、皆で訴え続けていくことが大事であると思います。(女性)

広報に大井川にかかわる話、ワンポイント位にしてシリーズに的な掲載をお願いしてはどうかと思います。

子供の頃、大井川の事、水が減った事、魚も減ったと教えていただいた記憶があり、今でも大井川を見ると水の量、川の流れを目で追っています。子供たちに大井川の事を教えてあげて下さい。大人になっても心に残っていくと思います。(女性)

○その他ご意見等について

講師の内海様、小澤様の郷里を愛し、山、川を愛している説明に自信と誇り、研究心を感じ素晴らしかったです。また、お話をお聞きしたいです。(女性)

貴重な2日間でした。機会があればまた、参加したいと思います。(男性)

道路状況の悪い中を安全運転に心掛けて下さった高村様に感謝します。(女性)

講師の内海様、参加者の北川様からのご説明等興味深く、奥大井での生活を貴重な実体験話を拝聴出来た事に感銘、感謝しています。また、小澤様には見識、知識等に驚かされた視察会でした。(男性)

初めて参加させていただき、素晴らしい自然と共に、講師「内海様・小澤様」の充実した講演や案内・説明に感銘をうけました。(男性)

リニアに関係してのことで、狭い日本でなぜそんなに急ぐ(速度を上げる)のか、ちょっと時間を縮める事に執着しすぎると思う。(女性)

各施設、ダム、設備の見学、初めてでよかったです。宿題が無ければもっと参加したいかな。(女性)

今回、初めて参加させていただき、スタッフ・講師等の皆様には大変お世話になり、とても勉強になりました。(男性)

「大井川の源流を学ぶ視察会」に体験させていただき、有難うございました。大井川の現状を見て勉強になりました。多くの人達に大井川と水の保全について、話したいと思います。(男性)

視察会、大変有意義でした。新聞だけでなく広報でもPRして参加希望者を増やして下さい。(女性)